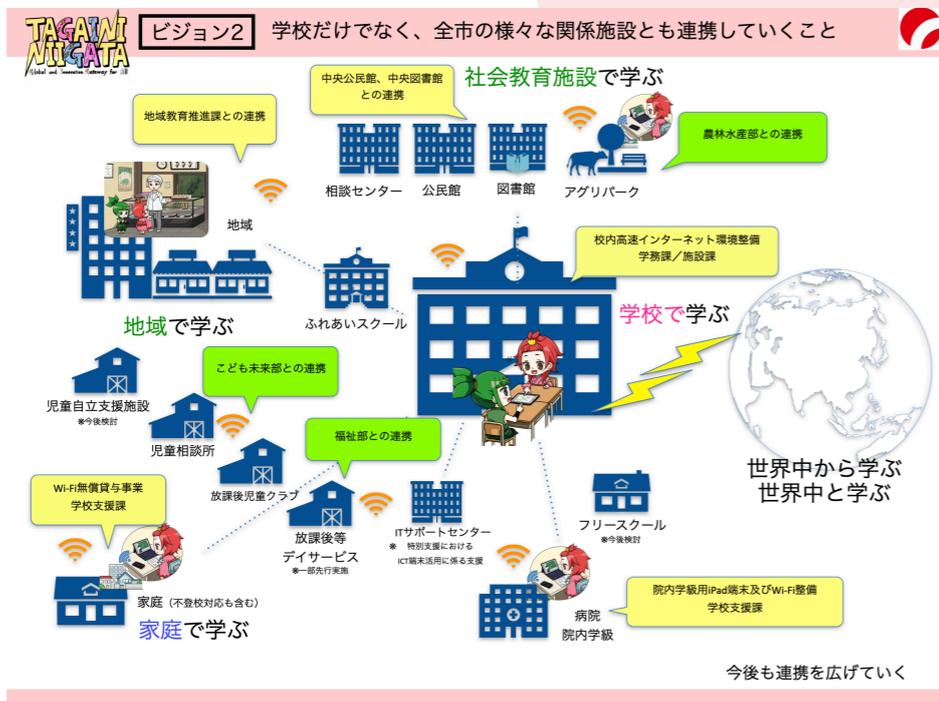


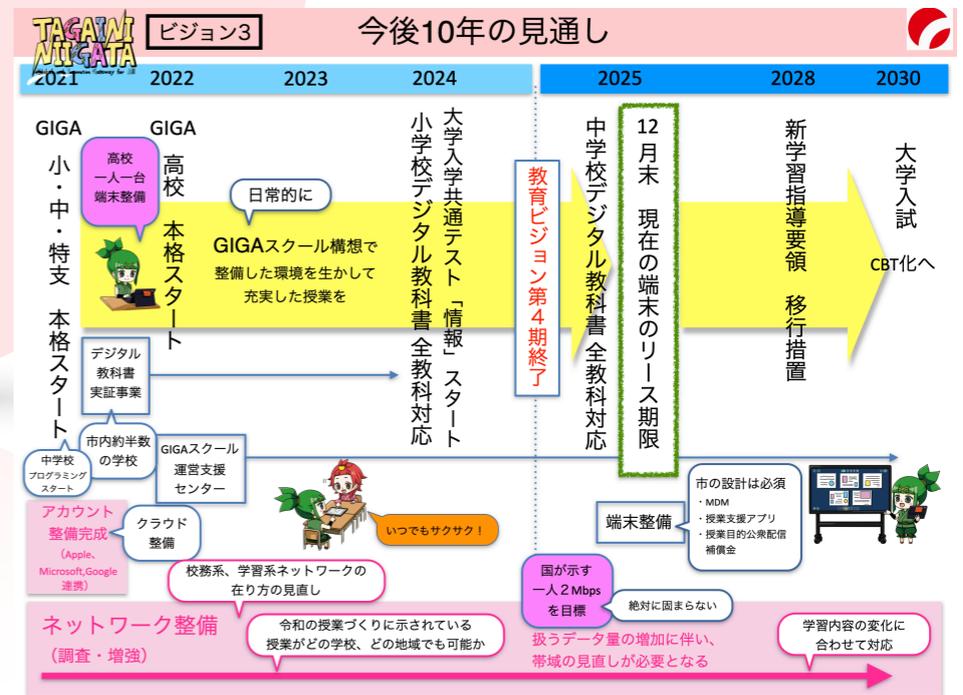
ビジョン1 「幼稚園から社会人になるまでを見通して情報活用能力をみんなで育てていくこと」



新潟市 教育の情報化ビジョン（令和3年度版）



ビジョン2 「学校だけでなく、全市の様々な関係施設とも連携していくこと」



ビジョン3 「今後10年の見通し」



【新潟市の子どもに育成する資質・能力】

これからの社会をたくましく生き抜く力



GIGA環境整備 【すべての人に使いやすい学習環境】

- ・ 1人1台情報端末 (小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校・高等学校)
*幼稚園は今後の動向を注視していく。
- ・ 指導者用端末整備 (授業担当者)
- ・ 高速インターネット環境の構築

校務環境整備 【安全や働き方改革を目指した校務環境】

- ・ 教育ネットワークの構築
- ・ 校務支援システム
- ・ セキュリティポリシー

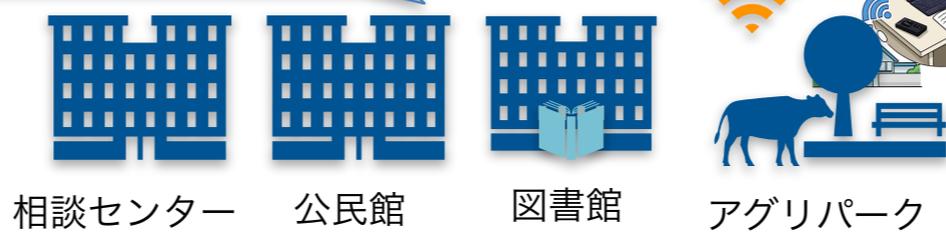


社会教育施設で学ぶ

中央公民館、中央図書館
との連携

地域教育推進課との連携

農林水産部との連携



地域で学ぶ



学校で学ぶ

校内高速インターネット環境整備
学務課/施設課



**世界中から学ぶ
世界中と学ぶ**



こども未来部との連携



福祉部との連携



Wi-Fi無償貸与事業
学校支援課



家庭（不登校対応も含む）
家庭で学ぶ



院内学級用iPad端末及びWi-Fi整備
学校支援課



2021 2022 2023 2024 2025 2028 2030

GIGA

小・中・特支
本格スタート

高校
一人一台
端末整備



GIGA

高校
本格スタート

日常的に

GIGAスクール構想で
整備した環境を生かして
充実した授業を

デジタル
教科書
実証事業

市内約半数
の学校

GIGAスクール
運営支援
センター

クラウド
整備

校務系、学習系ネットワークの
在り方の見直し



いつでもサクサク!

ネットワーク整備
(調査・増強)

令和の授業づくりに示されている
授業がどの学校、どの地域でも可能か

国が示す
一人2 Mbps
を目標

絶対に固まらない

扱うデータ量の増加に伴い、
帯域の見直しが必要となる

大学入学共通テスト「情報」スタート
小学校デジタル教科書全教科対応

教育ビジョン第4期終了

中学校デジタル教科書全教科対応

12月末 現在の端末のリース期限

新学習指導要領
移行措置

大学入試
CBT化へ

端末整備

市の設計は必須
・MDM
・授業支援アプリ
・授業目的公衆配信
補償金



学習内容の変化に
合わせて対応



文部科学省 「教育の情報科に関する手引き」より

教育の情報化に関する手引
(追補版)
令和2年6月



第2章 情報活用能力の育成 P 25,26

分類		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校	高等学校	想定される学習内容	
A 知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能	a コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作 b 電子ファイルの呼び出しや保存 c 画像編集・ペイント系アプリケーションの操作 d インターネット上の情報の閲覧・検索	キーボードなどによる文字の正しい入力方法 電子ファイルの検索 映像編集アプリケーションの操作 インターネット上の情報の閲覧・検索	キーボードなどによる文字の正確な入力 電子ファイルのフォルダ管理 目的に応じたアプリケーションの選択と操作 電子的な情報の送受信やAND、ORなどの論理演算子を用いた検索	キーボードなどによる十分な速さで正確な文字の入力 電子ファイルの運用(圧縮・パスワードによる暗号化、バックアップ等) 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 クラウドを用いた協働作業	効率を考えた情報の入力 電子ファイルの適切な運用(クラウドの活用や権限の設定等) 目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作 <ステップ4と同じ> クラウドを用いた協働作業 <ステップ4と同じ>	
		②情報と情報技術の特性の理解	a 情報の基本的な特徴 b 情報の伝送についての科学的な理解 c 情報の伝えるメディアの種類及び特徴 d コンピュータの存在 e 身近な生活におけるコンピュータの活用 f コンピュータの動作とプログラムの関係	情報の特徴 情報の伝送についての科学的な理解 情報を伝えるメディアの種類及び特徴 身近な生活におけるコンピュータの活用 コンピュータの動作とプログラムの関係	情報の特徴 情報の伝送についての科学的な理解 情報を伝えるメディアの種類及び特徴 社会におけるコンピュータの活用 手順とコンピュータの動作の関係	情報の伝達についての科学的な理解 情報を伝えるメディアの種類及び特徴 表現、記録、計算の科学的な理解 社会におけるコンピュータや情報システムの活用 情報のデジタル化や処理の自動化の科学的な理解 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組み 情報のシステム化の基礎的な仕組み	情報の科学的な理解 情報を伝えるメディアの科学的な理解 ※1 表現、記録、計算の科学的な理解 ※2 社会におけるコンピュータや情報システムの科学的な理解 情報のデジタル化や処理の自動化の科学的な理解 情報通信ネットワークの構成と科学的な理解 ※3 情報のシステム化の科学的な理解(コンピュータや外部装置の仕組みや特徴等)	
		③記号の組合せ方の理解	a 大きな事象の分解と組み合わせの体験 b 身近なところから様々な情報を収集する方法	単純な繰り返し・条件分岐、データや変数などを含んだプログラムの作成、評価、改善 手順を図示する方法	意図した処理を行うための最適なプログラムの作成、評価、改善 図示(フローチャートなど)による単純な手順(アルゴリズム)の表現方法	問題発見・解決のための安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等 アクティビティ図等による統一モデリング言語によるアルゴリズムの表現方法	問題発見・解決のためのプログラムの制作とモデル化 ※4 アクティビティ図等による適切なアルゴリズムの表現方法	
	2 問題解決・探究における情報活用方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	a 共通と相違、順序などの情報と情報との関係 b 情報の比較や分類の仕方 c 簡単な線や図、表やグラフを用いた情報の整理の方法 d 情報の大体を捉える方法 e 情報の特徴、傾向、変化を捉える方法 f 情報を組み合わせることで表現する方法 g 相手に伝わりやすいプレゼンテーションの方法	考えと理由、全体と中心などの情報と情報との関係 情報の比較や分類の仕方 観点を決めた表やグラフを用いた情報の整理の方法 情報の特徴、傾向、変化を捉える方法 自他の情報を組み合わせることで表現する方法 相手に伝わりやすいプレゼンテーションの方法	原因と結果など情報と情報との関係 情報と情報との関係付けの仕方 目的に応じた表やグラフを用いた情報の整理の方法 複数の観点から情報の傾向と変化を捉える方法 複数の表現手段を組み合わせることで表現する方法 聞き手とのやりとりを含む効果的なプレゼンテーション方法	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方 表やグラフを用いた統計的な情報の整理・分析の方法 目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法 情報を統合して表現する方法 Webページ、SNS等による発信・交流の方法 安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法	主張と論拠、主張とその前提や反証、個別と一般化などの情報と情報との関係 推論の仕方、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法 統計指標、回帰、検定などを用いた統計的な情報の整理・分析の方法 目的に応じて統計を用いて客観的に情報の傾向と変化を捉える方法 情報を階層化して表現する方法 Webページ、SNS、ライブ配信等の発信・交流の方法 安全・適切なプログラムによる表現・発信の方法 <ステップ4と同じ>	
		②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	a 問題解決における情報の大切さ b 情報の活用を振り返り、良さを確かめること	目的を意識して情報活用の見直しを立てる手順 情報の活用を振り返り、改善点を見出す手順	問題解決のための情報及び情報技術の活用を計画を立てる手順 情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見出す手順	条件を踏まえて情報及び情報技術の活用を計画を立てる手順 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し改善する手順	モデル化やシミュレーションの結果を踏まえて情報活用を計画を立てる手順 情報及び情報技術の活用を多様な視点から評価し改善する手順	
		3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解	a 情報社会での情報技術の活用 b 情報化に伴う産業や国民生活の変化	情報社会での情報技術の働き 情報化に伴う産業や国民生活の変化	情報システムの種類、目的、役割や特性 情報技術が人や社会に果たしている役割 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響	情報に関する個人の権利とその重要性 情報システムが人や社会に果たしている役割 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響	
			②情報モラル・情報セキュリティの理解	a 人の作った物を大切にすることや他者に伝えるに十分な情報があること b 生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティ c 情報技術の悪用に関する危険性 d コンピュータなどを利用するときの基本的なルール e 情報の発信や情報やりとりする場合の責任 f 情報の発信や情報社会での行動が及ぼす影響 情報メディアの利用による健康への影響	自分の情報や他人の情報の大切さ 通信ネットワーク上のルールやマナー 生活の中で必要となる基本的な情報セキュリティ 情報技術の悪用に関する危険性 情報の発信や情報やりとりする場合の責任 発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響 情報メディアの利用による健康への影響	情報に関する自分や他者の権利 通信ネットワーク上のルールやマナー 情報を守るための方法 情報技術の悪用に関する危険性 発信した情報や情報社会での行動が及ぼす影響 情報メディアの利用による健康への影響	情報に関する個人の権利とその重要性 社会は互いにルール・法律を守ることで成り立っていること 情報セキュリティの確保のための対策・対応 仮想的な空間の保護・治安維持のための、サイバーセキュリティの重要性 情報社会における自分の責任や義務 健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方	
			1 問題解決・探究における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	体験や活動から疑問を持ち、解決の手順を見通した上から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力	収集した情報から課題を見つけ、解決に向けた活動を達成するために情報の活用を見直しを立て、実行する	問題解決に向けて、条件を踏まえて情報活用の計画を立て、最適化し、解決に向けた計画を複数立案し、評価・改善しながら実行する	問題の解決に向け、条件を踏まえて情報活用の計画を立て最適化し、解決に向けた計画を複数立案し、評価・改善しながら実行する
				②新たな意味や価値を創造する力	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える
	B 思考力、判断力、表現力等	1 問題解決・探究における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
			②新たな意味や価値を創造する力	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
			③受け手の状況や目的を踏まえて発信する力	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
		2 問題解決・探究における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	④自らの情報活用を評価・改善する力	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
			⑤必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
			⑥必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える	
C 学びに向かう力、人間性等	1 問題解決・探究における情報活用する力(プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む)	①多角的に情報を検討しようとする態度	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える		
		②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える		
	2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	①責任をもって適切に情報をおこなう態度	必要に応じて情報を整理し、自分の言葉でまとめる 情報の大体を捉え、分解・整理し、自分の言葉でまとめる 相手の意図し、わかりやすく表現する	情報を抽象化するなどして全体的な特徴や要点を捉え、新たな考えや意味を見出す 表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせることで適切に表現する	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を含みながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する 情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見つけ他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する 目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせることで表現し、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する	分析の目的等を踏まえて調査を設計し、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を自在に活用したりして整理する 目的に応じ、情報と情報技術を活用して、情報の傾向と変化を捉え、問題に対する多様な解決策を明らかにする 目的や意図に応じて情報を統合して表現し、プレゼンテーション、Webページ、SNSなどやプログラミングによって表現・発信、創造する 情報及び情報技術の活用を効率化の視点から評価し、意図する活動を実現するために手順の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかを論理的に考える		

基本的な操作等
プログラミング

問題解決・探究
における情報活用

情報モラル・
情報セキュリティ

情報モラル・情報セキュリティ
プログラミング
問題解決・探究
における情報活用

問題解決・探究
における情報活用

情報モラル・
情報セキュリティ



教員のポイント

レベル3

様々な手法のメリット・デメリットを理解した上で、目的に応じて最適な手法を使いこなす

個別最適な学び・協働的な学びにつながっているか見とる

この街の魅力を発信するには、他の地域の事例を知りたいな。オンライン会議で情報収集しよう。

来週はプレゼンの発表。グループで資料を共有して、協働でプレゼンの作成をしていこう。

レベル2

学級活動や生徒会活動での自発的な活動

活用の場面や方法を自ら判断し、試す（トライアンドエラー）

子どもが選択・判断できる状況を設定する

先生、この部分を記録に残したいので、写真を撮らせてください。

僕は画像にメモを入れて成長の記録をつけよう。こうすると、比べやすい。

同じ学習場面でも方法は違って良い

私は細かい部分を見るために、ノートにスケッチしていこう。そのノートを写真に撮って提出。

レベル1

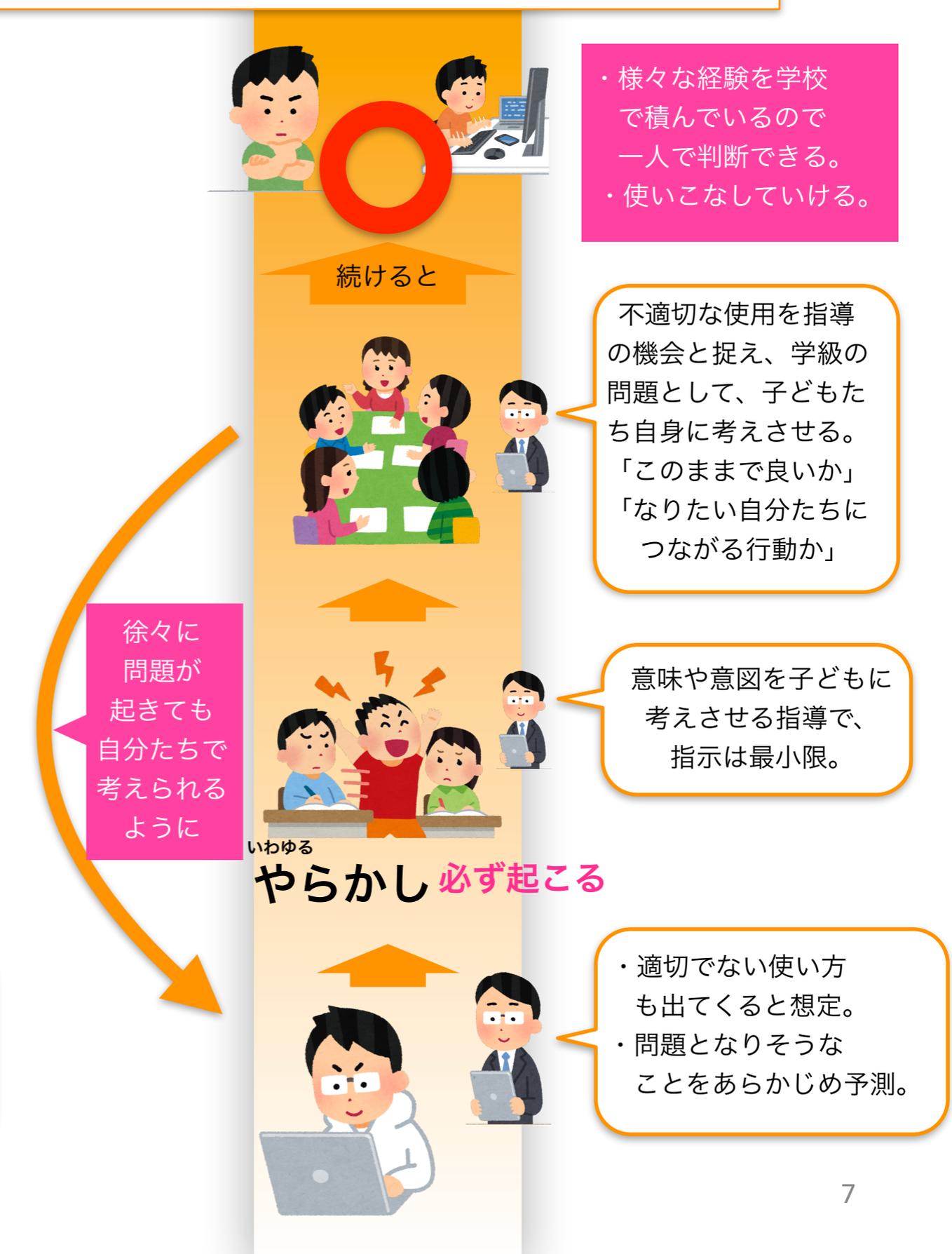
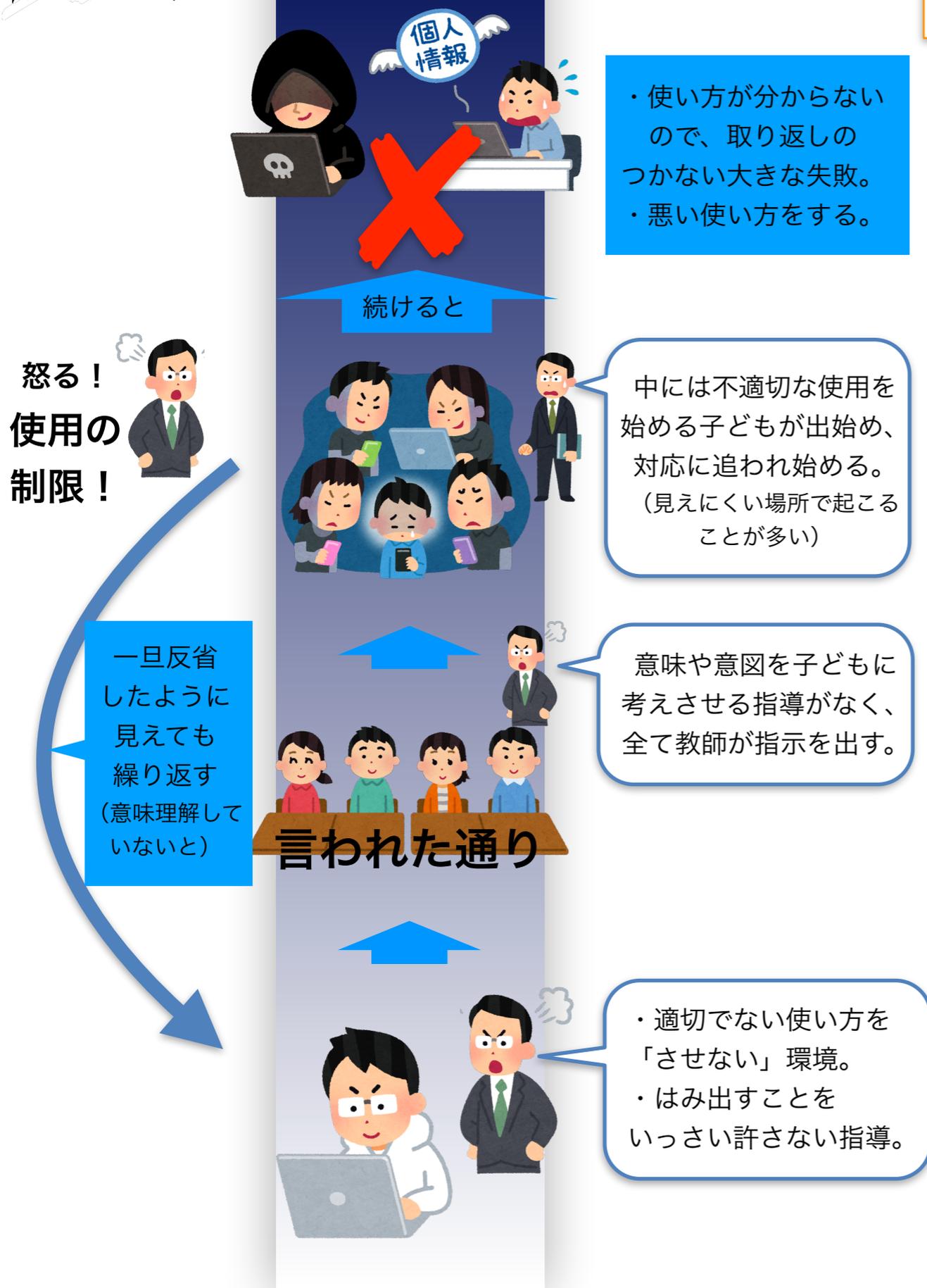
とにかく使う

「やらかし」も含めて、どのように使うことが学びにつながるのか経験させる・考えさせることの繰り返し





新潟市は支持的風土の醸成を基本として





GIGA

Global and Innovation Gateway for All

主体的・対話的で深い学び

現実的な諸課題の解決



世界中

探究

input

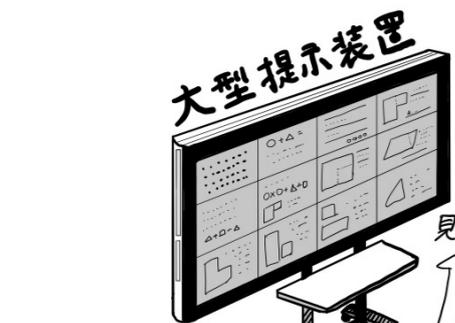


世界中から
専門家

資質・能力

の育成へ

学びの保障として



大型提示装置

一人一人の
考えの共有が
瞬時に

見える化メモリ



黒板と併用で
大型提示装置を活用

グループでも...
読み上げ機能
音声入力 かも

学校

1人1台端末と
大容量
高速
ネットワーク環境

オンライン授業 (授業配信により)

家庭



丸付けも
自動



AIDリル

自分の力で
自分のペースで
すすめられる

データは
クラウド上に

授業のつづきも



院内学級
でも...



はなれて
いても...
クラスの子と
いっしょに。

なかなか登校できない
児童・生徒も

休校中
でも...



距離はあっても
友だちや先生と
つながれる



新潟市
GIGA宣言
Global and Innovation Gateway for All

わたし たんまつ りよう つぎ まも
私たちは端末を利用するときに，次のことを守ります。

まな ふか がっこう せいかつ ゆた かつよう
学びを深め，学校生活を豊かにするために活用します。

ひと いや ひと きず っ
人が嫌がることや人を傷付けることはしません。



花野古町



笹団子郎



新潟市立学校 GIGAスクール構想推進ガイドライン (第2版 R3.3.30)



新潟市GIGA宣言



私たちは端末を利用するときに、次のことを守ります。

学びを深め、学校生活を豊かにするために活用します。

人が嫌がることや人を傷付けることはしません。



↑ 「NIIGATA GIGA SUPPORT WEB」で「e-support」等,更なる情報を日々更新中!

新潟市教育委員会



新潟市教育委員会「GIGA SUPPORT WEB」へようこそ

新潟市は、すべての児童生徒に対して、日常的に行う1人1台の端末を活用した授業づくりを通して、予測困難なこれからの時代の中で、「たくましく生き抜く力」の育成を目指します。本サイトは新潟市のすべての教職員が、自信と安心感をもって、1人1台の端末を活用した授業を実施できる状態になるためのサポートサイトです。日々、コンテンツを充実させていくので、ご期待ください！

オンライン対応情報 最終更新2021.8.26



保護者用情報



学校用情報



子ども用情報

新潟市GIGAサポートWEB
<https://niigata-giga.info/>

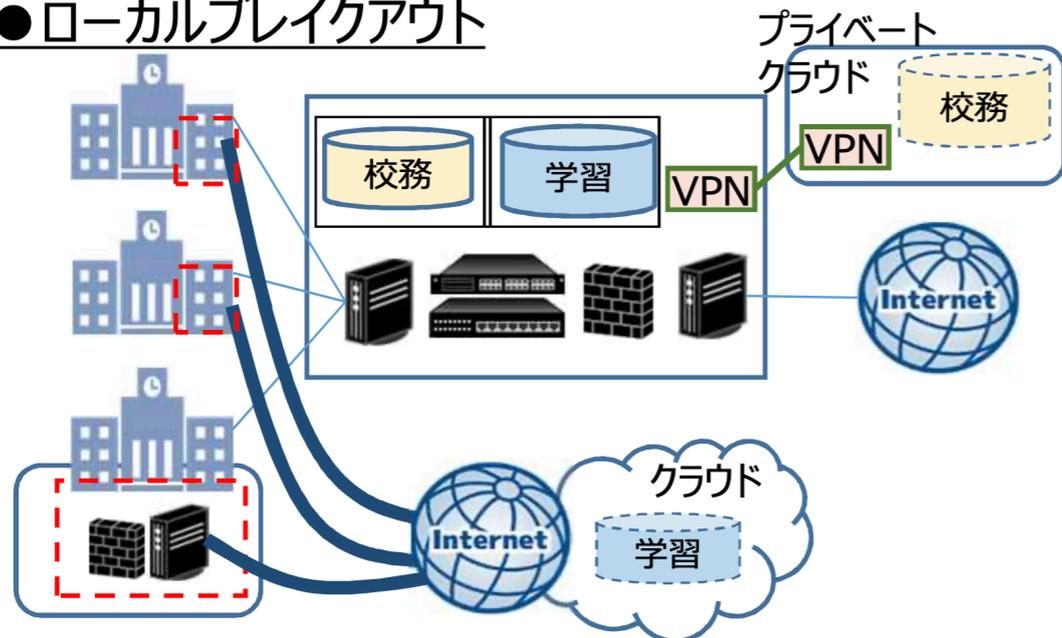




校務系、学習系ネットワークの統合

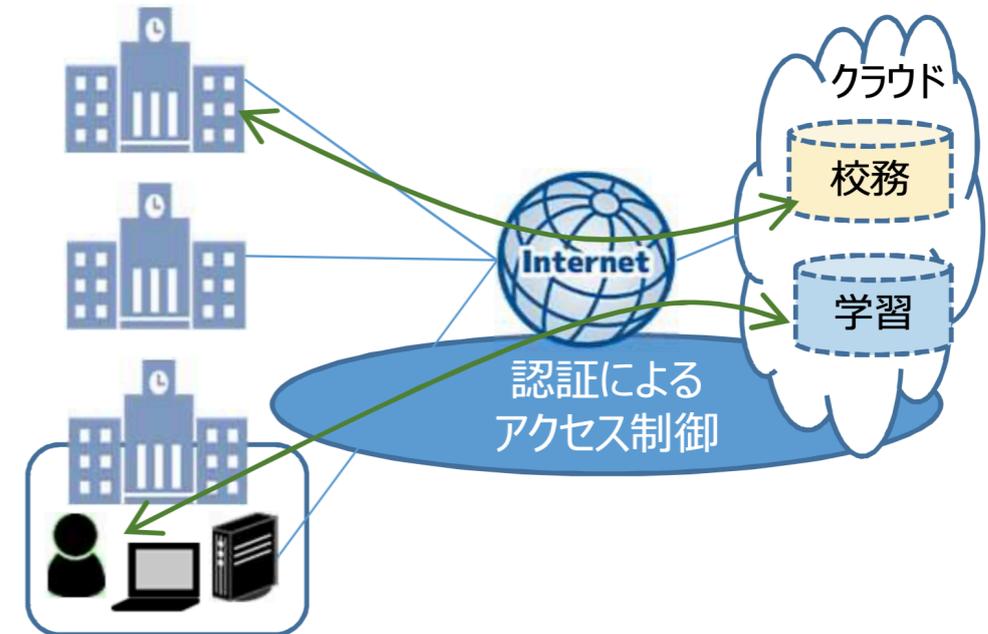
クラウドによる運用

●ローカルブレイクアウト



ローカルブレイクアウト構成をとることにより学校にあらたな機器が増えることや、直接インターネットへ接続する接続点が増えるため、これらのセキュリティ対策について整理

●ネットワーク分離を必要としない
認証によるアクセス制限を前提とした構成



※長期的に検討を進める